

# 横田ライオンズクラブ結成

横田ライオンズクラブがこのたびライオンズクラブ国際協会から認証を受けることになり、六月三日、伝達式が横田コミュニティセンターで開催されました。

式典には、岩田町長、ライオンズクラブ国際協会の谷野徹国際理事、三三六D地区（島根・山口エリア）の川本眞徳ガバナ、横田ライオンズクラブの会員二十八人を始め関係者約二百五十人が出席しました。

ライオンズクラブ国際協会は、現在百九十七カ国、約四万五千クラブ、百三十万人以上の会員を有する世界最大の奉仕団体で、横田ライオンズクラブは、日本で三千六百四十番目、三三六D地区で百十六番目のクラブとなります。

初代会長となった糸原徳康氏からは、「社会奉仕をモットーに地域の皆様に親しまれ、信頼を得て、活力ある



認証状を受ける糸原会長(右)

組織づくりに努め、地域奉仕、青少年健全育成などの活動を積極的に進めて行きたい」とあいさつがありました。今後は国際クラブの一員として、来年で認証四十周年を迎える仁多ライオンズクラブと共に、地域に根ざした奉仕活動が積極的に展開されます。

## ありがとうございます

今回の認証記念事業として、町立横田中学校の屋外用掲示板一基を贈呈いただきました。

また、世界中の視力障害の克服を図る献眼基金へ八百四十一ドルが寄付されました。

## 木材の安定供給に向けて 八川で森林協定



▲協定された八川施業団地

です。

これまで別々に森林整備を行ってきた国有林と民有林が連携し、効率のよい施業団地の整備を進めようと五月十八日に交流館三国で「八川地域森林整備推進協定」の調印式が行われました。

この協定は、国有林を管理する近畿中国森林管理局と、民有林の造林を行う緑資源機構中国四国整備局、島根県の三者によるもので、県内では初、全国でも珍しい取り組みです。

八川地内の森林施業団地の面積は、二百九十八畝で、国有林は九十四畝、民有林は緑資源機構が百四十二畝、県行造林八畝、私有林が五十四畝

いずれも植林から四〜五十年を経過し、伐採期を迎えたヒノキやスギがありますが、間伐もままならない状況で、しかも所有者の異なる造林地を通らないと作業道が作れないことから、森林を管理する国、県、緑資源機構の三者で解決策を検討し、山林を一体と考え、間伐や作業道整備を連携して取り組むこととなりました。

調印式終了後には、豊かな森づくりと森林資源の有効活用が図られるよう、奥出雲町の町木「もみじ」の記念植樹が行われました。